

川べりの引き戸を ガフリとあけると
 大きな岩が目に飛び込む
 岩をくりぬいた石湯と素材なつくりの小屋
 湯につかると 疲れたからだを包み まわっていく
 街の生活で 疲れた心まで ほぐされていく
 目を閉じていこうとオーケーと
 川が呼びかけてくる
 耳で風が ひゅーひゅーと 話かけてくる
 忘れていた 自然の息吹が かつけてくれる
 宿にもとめて 湯ノ花の あつい人情が迎える
 至福のひとときが 1111days



写真は温泉エッセイスト 山崎まゆみさん
 HP <http://ingsnet.com/mayumi/>

共同浴場 石湯

会津高原 宿の娘の嫁し

清流といで湯の里

湯ノ花の楽しみ方



豊かな自然と田園風景（岩窓地区）



湯ノ花温泉の宿ガイド

- ①旅館・末廣 ☎0241-78-2513 ⑤民宿・ふじや ☎0241-78-2627
- ②旅館・湯本屋 ☎0241-78-2059 ⑥民宿・かじや ☎0241-78-2413
- ③宿・紅葉館 ☎0241-78-2271 ⑦民宿・みちのく ☎0241-78-2334
- ④民宿・いせや ☎0241-78-2515 ⑧民宿・山楽 ☎0241-78-2201

ご案内・宿泊予約先

福島県南会津町観光物産協会館岩観光センター

お問い合わせ先

福島県南会津町館岩総合支所振興課

〒967-0304 南会津郡南会津町松戸原55番地
 TEL 0241-64-5611 FAX 0241-78-3274
 URL <http://www.kanko-aizu.com>

〒967-0304 南会津郡南会津町松戸原50番地
 TEL 0241-78-3330 FAX 0241-78-3008
 URL <http://www.minamiaizu.org>

湯を楽しむ

◎ゆをたのしむ



▲石湯(いしゆ)

湯ノ岐川べりに位置する。川原に湧くお湯を引込んで。大きな自然の岩をくりぬき湯船としていて石湯と呼ばれる。
 ●混浴



▲湯端の湯(ゆばたのゆ)

湯ノ岐川のかたわらに位置する。湯ノ花で一番古い湯で山裾から大量に湧きだしていることから、山腹に温泉神社を祀っている。
 ●男女別

湯ノ花温泉は700年前の鎌倉時代に発見されたと伝えられ、幕末の米沢藩士、雲井龍雄も利用したと伝えられている。湯ノ岐川の上流から順に湯端の湯、天神湯、弘法の湯、石湯の4つの共同浴場があり毎朝地元の人が湯を落とし掃除をして使用している。泉質はいずれもナトリウムやカルシウムを含む単純泉で、婦人病、神経痛、疲労回復に効果がある。 *入浴券の購入が必要です。お近くの商店・旅館・民宿で購入してください。
 ■入浴料 200円 *一般の利用は午前6時～午後10時まで 1入浴券で当日限り4共同浴場入浴可



▲弘法の湯(こうぼうのゆ)



餅沢川沿いに位置する。弘法様を祀っていた場所に開かれたため、弘法の湯と呼ばれる。木造で建替えられ、シャワーも新設された。
 ●男女別

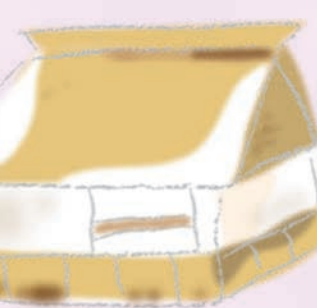
▲天神湯(てんじんゆ)



湯ノ花大橋のたもとに位置し、窓をあけると湯ノ岐川を見下ろすことができ、眺めが良い。近くに天神様を祀っていることから、天神湯と呼ばれる。
 ●混浴

里を楽しむ

◎さとをたのしむ



▲湯ノ花舞台(ゆのはなぶたい)



雲井龍雄(くもいたつお)



浪曲 恋の雲井龍雄のレコードと台本



南会津地方は昔から農民歌舞伎が盛んだった。湯ノ花舞台は1889年の建物で、県内でもっとも古く、遺構もよく残されており、町の指定重要民俗文化財になっている。近くに二荒山神社もあり、木立に囲まれた静寂な雰囲気を楽しむことができ、見晴らしもよい。

雲井龍雄は幕末の米沢藩士で、戊辰戦争時津藩を助けようとして沼田街道を南下し、尾瀬越えの際に湯ノ花温泉に投宿したといわれている。その時に宿の娘と恋に落ちた物語が浪花節「恋の雲井龍雄」宮川右近作曲によりうたわれている。また雲井龍雄の詠んだ詩は今でも詩吟愛好家の間で愛されている。

▲温泉神社(おんせんじんじや)



湯端の湯にちなみ祀られた神社で、鳥居は堤山の石切り場から切り出された石を組み上げた独特の形をしている。この石は湯端の湯の女湯浴槽にも使われている。



17 二荒山神社



16 旧石湯橋



15 冬の滝見橋

12,13 大嵐山



14 滝沢川



13 大嵐山山頂



12 大嵐山登山道に見られるシャクナゲ



1 大嵐山(おおあれやま)

■標高 1,635m
湯ノ倉山の奥にそびえる古くから信仰の山として登山に親しまれた秀峰。登山道は整備されており、山道にはトチ、シダ、サワグルミの原生林やアズマシャクナゲの群生地が広がる。山頂からの360度のパノラマがすばらしい。
福島百名山
*山頂まで徒歩2時間 30分



2 湯ノ倉山(ゆのくらやま)

■標高 1,343m
大嵐山の手前にそびえ、登山も大嵐山からの縦走もできる。湯ノ倉富士とも呼ばれる形のきれいな山で、紅葉、初雪の雪景色が美しい。
*山頂まで徒歩1時間30分



田代山(たしろやま)

■標高 1,971m
25haの山頂湿原があり、いっせいに花をつける高山植物が見られる。また、山頂からの会津駒ヶ岳、日光連山の眺めも美しい。
*湯ノ花温泉から車で40分 猿倉登山口から山頂まで徒歩2時間



◎ やまをたのしむ



1 案内看板



2 歓迎看板



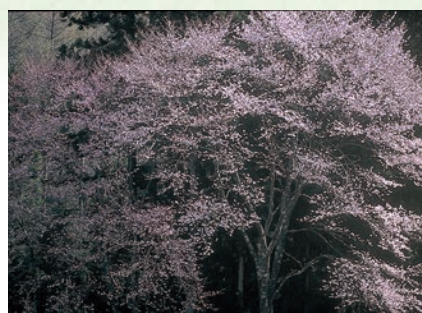
3 稲荷神社



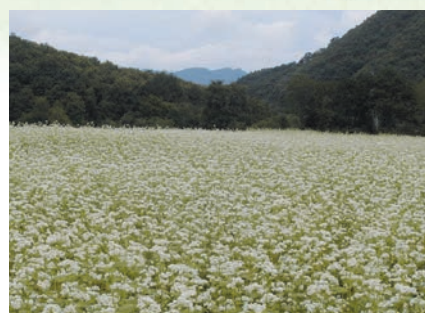
4 光照寺



5 湯ノ岐川に合流する鍛冶沢川



山桜(湯ノ花温泉のいたるところにみられる)



6 そば畑



7 六地藏



8 石切り場



湯ノ花マップ



11 しらかば公園キャンプ場



10 しらかば公園沿いの湯ノ岐川



9 雷神様



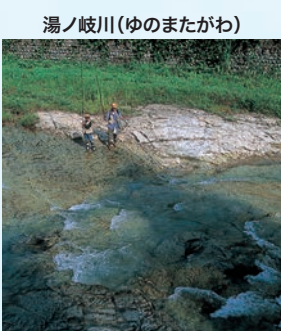
13 大滝・小滝(おおたき・こたき)

湯ノ岐川の大小二つの滝で新緑はもろみ秋はもみじとあいまって絶景を演出する。甌穴と呼ばれる川床の岩が削られ大小のくぼみができる大釜小釜もいっしょに見ることができる。



14 白糸の滝(しらいとたき)

湯ノ倉山を水源とする滝沢川が湯ノ岐川と合流する寸前で岩盤の上を流れ落ち、見事な白糸の流れを見せる。雪解け時の水量が多い時期が見ごろ。



湯ノ岐川(ゆのまたがわ)

水源は田代山。集落を二分するように流れる清流。川床の大小の礫岩により、速い流れや、静かな流れ、大小の滝を見つけることができる。



15 渡沢(わたざわ)

貴重なふなの原生林があり集落の水源として大切にされて、絶えなく湯ノ岐川に水を供給している。夏でもひんやりとした清涼な空気を味わうことができる。



◎ かわをたのしむ



◎ しょくをたのしむ



赤かぶ(あかかぶ)

周辺の畑で採れる赤かぶは、この地方でしかでない独特の赤色をしており、各旅館、民宿ごとに漬けられた味は格別で、秋から冬にかけて必ず膳に並べられる。



もちそば(もちそば)

周辺の畑で栽培された地粉を使用し、手打ちで出されるそばは、清流の水を使用していることから、その味はひきまわって美味しい。また8月中旬からそばの花が咲き見事である。